

機械器具 49 医療用穿刺器、穿削器及び穿孔器
管理医療機器 電動式歯科用ファイル JMDN:31878022

K 3 ファイル

【禁忌・禁止】＊

本品の原材料にはニッケル、クロムが含まれている。
ニッケルやクロムにアレルギー反応を示す患者には
使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

呼称と寸法

番手	テーパー	長さ
# 15	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 20	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 25	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 30	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 35	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 40	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 45	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 50	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 55	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
# 60	0.04、0.06	21mm、25mm、30mm
アソート	0.04、0.06	21mm、25mm

※アソート：# 15～# 40 各 1 本

原材料

刃 部：ニッケルチタン合金
シャンク部：銅合金

【使用目的又は効果】

根管の拡大・形成を行う。

【使用方法等】

減速コントラハンドピースに装着し、適正な回転数
（100～350r. p. m.）で操作する。

（使用方法）

- ① K3 オリフィスオープナー等を用いて根管の開口部分を切削する。
- ② サイズの小さなファイルを用いて根管長の測定、K3 ファイルの誘導路を確保する。
- ③ サイズ及び先端のテーパー角の大きいファイルから使用し、歯冠側から根尖方向に向けてハンドピースを上下に動かしながら根管の拡大形成を行う。
- ④ 次にサイズとテーパー角の大きいファイルから小さいファイルに代えて行き、根管の拡大形成を行う。根尖方向に無理な力を加えず、ファイルが進まなくなれば小さいサイズとテーパー角のファイルに代える。
- ⑤ 予定したファイルを全て使用しても十分に根尖まで到達しないときは最後に使用したファイルの前のサイズに戻して再度拡大形成できるまで操作を繰り返す。
- ⑥ 根管はファイルを交換するときに洗浄する。

（使用方法に関連する使用上の注意）＊＊

- ① 本品を減速コントラハンドピースに取り付けるときはシャンクを確実に奥まで挿入し、半チャックでないことを確認すること。
- ② あらかじめ口腔外で回転させて、振れがないことを確認すること。
- ③ ファイルに過度の力が掛かると破断するので、ファイルが歯に食い込んだときは無理に回転させないこと。＊
- ④ 使用前にファイルの金属疲労、傷、曲がり等の劣化の有無を調べること。
- ⑤ 目の損傷を防ぐために保護メガネを着用すること。

【使用上の注意】＊＊

1. 使用注意

- ① 使用前に必ず洗浄・滅菌を行うこと。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム溶液、EDTA 溶液は長時間浸漬させるとファイルの素材を腐食させる。これらの溶液を使用する場合は腐食に注意すること。＊
- ③ 消毒剤を使用する際は、薬剤の使用説明書に従って使用すること。＊＊

2. 重要な基本的注意 ＊

本品の使用により感作又はアレルギー反応が表れる可能性があるため、異常を認めた場合は直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

（洗浄方法）＊

- ① 本品を金属製のインスツルメント収納ケースに入れて、超音波洗浄剤もしくは超音波洗浄に使える小器具洗浄剤で超音波洗浄を行うこと。
- ② 本品がすべて洗浄液に浸かるように十分な量の洗浄液を入れること。
- ③ 洗浄後は十分にすすぐこと。仕上げすすぎには精製水を用いることを推奨する。
- ④ 洗浄後は、腐食を防ぐために必ず乾燥させること。＊＊

（滅菌方法）＊

- ① 滅菌前に汚れ、傷、損傷等の有無を調べる。
- ② 点検後、高圧蒸気滅菌を行う。滅菌は 134℃で 6 分間または 121℃で 30 分間行う。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：  株式会社 **ヨシダ**
住 所：〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ先
器材部
電 話 番 号：03-3845-2931
F A X 番 号：03-3841-8204

製 造 元：オームコ社 *
Ormco Corporation
(国名：アメリカ合衆国)